



## 上田秋成「宮木が塚」

上田秋成が書いた『春雨物語』の一部に「宮木が塚」という文学作品があります。遊女宮木を主人公とする物語で、恋の争いの末、最後は法然上人に仏縁を頼み川に身を投げ儚く散るというあらすじです。この物語は尼崎の神崎にある遊女塚をモデルとして書かれたものです。

舞台となった神崎川の河口は、延暦3(784)年の長岡京遷都を契機に、その翌年淀川と直結され、「河尻の泊」とよばれるほど重要な港として栄えました。港町としてたくさんの舟が集まり、漁民から問丸が生まれるなど活気にあふれていました。神崎の港は、人々の往来も多く遊女の町としても栄えました。その様子から大江匡房は『遊女記』に神崎の地を「天下第一の楽地」と記しています。

『摂津名所図会』によると、建永2(1207)年、法然上人が四国の讃岐へ流される途中、神崎に立ち寄りました。その際遊女である宮木が、罪深い身であることを懺悔し法然上人の法話を聞いた後、四人の遊女とともに念仏を唱えながら川に身を投げました。村人たちはそのことを哀れに思い、神崎川の河岸に墓碑を立てて供養しました。

この遊女塚は現在、場所を移し尼崎神崎町34番地の梅ヶ枝公園にあります。墓石の裏面には五人の遊女の名前が刻まれていたようですが、現在は摩耗し痕跡が見えなくなっています。

(参考:『兵庫歴史散歩1』兵庫歴史教育者協議会/編著 兵庫歴史散歩刊行会)

### ◆ 上田秋成と尼崎

上田秋成は享保19(1734)年に生まれ、江戸時代中期～後期に国学者、浮世草子、読本作家として作品を残しました。二十歳の頃から俳諧と和歌に興味を持ち、また中国小説類を多く読みました。秋成は三十歳前後に生活のため加島村にて医者となるため修行をし、その傍ら和歌や国学を志し、後に「雨月物語」「春雨物語」などの読本を発表しました。

秋成が尼崎を訪れるきっかけとなったのは、浄土宗の開祖法然の書いた伝記『円光大師伝記』を読んだことでした。遊女入水の話にひどく心を惹かれた秋成は四十歳になるころ神崎を訪ねます。遊女塚を発見した際、感激し『藤篋冊子』二で、『神崎遊女宮木の古墳を見て作る歌』と題し、儚く亡くなった遊女を思い、歌を詠んでいます。その後、秋成は遊女塚の伝承より着想を得て構想を温め、約三十年経った後『宮木が塚』の物語が生まれることとなります。

(参考:『尼崎の文学』吉原栄徳/著 和泉書院)

### ● 「上田秋成」についてならこんな本●

- 『雨月物語, 浮世床, 春雨物語, 春色梅暦』上田秋成/ (他) 著 河出書房新社 310013336
- 『新日本古典文学大系 68 近世歌文集 下』鈴木淳/校注 岩波書店 211357470
- 『上田秋成の文芸的境界』鷲山樹心/著 和泉書院 230195839

＜図書館の休館日＞ ■■■■ 印の日はお休みです

2月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
⑥	7	8	9	10	⑪	12
⑬	14	15	16	17	18	19
⑳	21	22	㉓	24	25	26
㉗	28					

3月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
⑥	7	8	9	10	11	12
⑬	14	15	16	17	18	19
⑳	㉑	22	23	24	25	26
㉗	28	29	30	31		



2月: 如月(きさらぎ)

食べ物: レンコン、ゴボウ、カラシナ、オレンジ、ハッサク、フグ、キンメダイ  
 植物: ユキワリソウ、アネモネ、プリムラ、フクジュソウ、スノードロップ  
 季語: 早春、雨水、野焼、針供養、白魚、梅、クロッカス、岩海苔

開館時間 午前9時～午後8時(日曜・休日(○)は、午後5時15分まで)

- ・ 急遽イベントを中止、または延期する場合があります。
- ・ ご来館の際は感染症対策へのご協力をお願い致します。

## 子どもも大人もみんなでおはなし会

ボランティアグループ「ひまわりの会」によるストーリーテリング。  
寒い冬に、いろりを囲んで昔話を聞くような、子どもから大人まで楽しめる  
おはなし会です。当日は直接会場にお越しください！

- 【日時】 2月12日(土) 14:00~15:00
- 【場所】 3階集会室
- 【対象】 どなたでも
- 【定員】 先着50名
- 【申込】 不要



お

## こっそりきかせて！あなたの「押し本」 ～子育て編～

利用者の皆さんと北図書館スタッフが選んだ絵本などのオススメ本「押し本」を  
ご紹介します。参加者の皆さんと一緒に育児に関するアレコレをおしゃべりする  
時間もあります。

お子さんとの参加、途中入退場可能ですので、お気軽にご参加ください！

- 【日時】 2月23日(水・祝) 10:00~10:30
- 【場所】 3階集会室
- 【対象】 どなたでも
- 【定員】 先着10組
- 【申込】 不要



<2月展示のご案内>

一般大展示 みんなの胃袋  
2階展示 きものあれこれ

# 大人のための朗読会

【日時】 2月16日(水) 午後2時から1時間ほど  
【場所】 3階 集会室  
【内容】 『新釈につぼん昔話』より  
「三枚のお札」 乃南 アサ/著

朗読はボランティア「ま・どんな」のみなさんです。

※ 状況により、内容の変更・中止になる可能性があります。

## 人を読む 田中啓文

たなかひろふみ・1962年～大阪府生まれ。神戸大学卒。  
『銀河帝国の弘法も筆の誤り』で第33回星雲賞日本短編部門を受賞、『渋い夢』で第62回日本推理作家協会賞短編部門を受賞。著書に『元禄百妖箱』など多数。

### 『信長島の惨劇』

田中 啓文[著]/早川書房

本能寺の変より十数日後。死んだはずの織田信長を名乗る何者かに三河湾に浮かぶ小島に招かれた羽柴秀吉ら四人の武将。謎めいた童歌に沿って次々と起こる殺人、“信長”の目的とは……。アガサ・クリステイ「そして誰もいなくなった」にオマージュを捧げた時代ミステリ。

### 『ハナシをノベル!! 花見の巻』

田中 啓文[著]/講談社

人気作家が描く新作落語を、落語家・月亭八天(現・七代目月亭文都)が演じる、コラボレーション。田中啓文の『真説・七度狐』『時たまご』を含め、我孫子武丸らが書いた「演じるための落語」9本と月亭八天による解説を収録。『真説・七度狐』『寄席の怪談』を録音した付録CDつき。

### 『こなもん屋馬子』

田中 啓文[著]/実業之日本社

「コナモン全般なんでもアリ」いかにも“大阪のおばはん”な「馬子屋」女店主・蘇我家馬子(芸名)が、絶品「こなもん」料理で人びとのお悩みを解決する。お好み焼き、たこ焼き、うどん、ピザ、豚まん……。神出鬼没のコナモン屋のグルメミステリ。『ジェイ・ノベル』掲載を単行本化。

### 『落語少年サダキチ』

田中 啓文[著]・朝倉 世界一[画]  
/福音館書店

不良グループにからまれていた酔っ払いの老人を助けた少年・忠志は、お礼として老人から落語を聴く。落語の面白さを知った忠志は「お楽しみ会」で落語をすることになり……。『Web福音館』連載を加筆修正し単行本化。【小学3～4年生】

1993年にジャズミステリ短編「落下する緑」が『本格推理』(鮎川哲也編)に入選、同年「凶の剣士」(刊行時に「背徳のレクイエム」と改題)で第2回ファンタジーロマン大賞に佳作入選してデビュー。落語・時代小説のシリーズほか、ファンタジー、ホラー、SF、ミステリなど多彩なジャンルで多くの作品を出版している。

# 児 童 室 2 月

## おはなし会



### 土曜日

(第1・第3土曜日) 場所：3階集会室

おひざのうえ (0~2歳くらい) 午後2:00~  
 小さい人 (3~5歳くらい) 午後2:15~  
 大きい人 (小学校低学年くらい) 午後2:40~

2/12(土)2時~  
 「みんなで楽しむ  
 おはなし会」  
 あります!



### 2/5 (土)

#### ● おひざのうえ

「いちごさんがね...」 「ひよこはにげます」

#### ● 小さい人

「りんごがひとつ」 「ネズミとゾウ」

#### ● 大きい人

「のはらでまたね」  
 「おおかみと七ひきのこやぎ」

### 2/19 (土)

#### ● おひざのうえ

「おつきさまこんばんは」 「いいおかお」

#### ● 小さい人

「ぽとんぽとんはなんのおと」  
 「世界でいちばんきれいな声」

#### ● 大きい人

「リスとはじめての雪」 「だいふくもち」



### 水曜日

### あかちゃんひろば

(第1・第3水曜日)

場所：1階絵本コーナー

2/2(水)、2/16(水)

午前11:00~11:20

0歳~2歳くらいのお子さんと  
 保護者向け

赤ちゃん絵本、わらべうた、手遊びなど



### 日曜日

(第2・第4日曜日)

場所：1階ロビー

2歳くらいから

2/13(日)、2/27(日)

午前11:00~11:20

季節の絵本や紙芝居など

## 2

### 今月の展示

『ふゆのほん』



日	月	火	水	木	金	土
		1	2 	3	4	5 
6	7	8	9	10	11	12 
13 	14	15	16 	17	18	19 
20	21	22	23	24	25	26 
27 	28					